



平成29年5月8日

各 位

上場会社名 株式会社 文溪堂
 代表者 代表取締役社長 水谷 泰三
 (コード番号 9471)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 渡邊 明彦
 (TEL (058)398-1111)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成28年5月13日に公表しました平成29年3月期の業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(百万円未満、小数点第1位未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,510	489	498	317	49.86
今回修正予想(B)	11,667	593	624	420	66.80
増減額(B-A)	157	104	126	103	
増減率(%)	1.3	21.3	25.4	32.7	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	11,429	538	582	356	56.07

平成29年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,210	438	435	276	43.41
今回修正予想(B)	10,310	529	549	374	59.44
増減額(B-A)	100	91	114	98	
増減率(%)	0.9	20.7	26.3	35.6	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	10,154	517	562	390	61.42

修正の理由

個別業績予想につきましては、売上高は出版部門においてテスト等の主力商品が好調であり、増収となる見通しであります。教具部門においても裁縫セットや家庭科布教材などを中心に販売数が伸び、全体として増収となる見通しであります。

損益につきましては、売上高の増加に加え、製造コストの削減や広告宣伝費、消耗品費等の販管費の削減に努めた結果、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表予想を上回る見通しであります。

連結業績予想につきましては、個別業績予想の修正に伴うもののほか、中学図書教材の販売増により増収となる見通しであります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成28年5月13日発表)	—	8.70	—	8.70	17.40
今回修正予想	—	—	—	15.25	23.95
当期実績	—	8.70	—		
前期実績 (平成28年3月期)	—	7.70	—	16.90	24.60

配当政策の基本方針

当社の利益配当につきましては、長期にわたり安定的な経営基盤の確立に努めるとともに、安定した利益配当を継続的に実施することを最重要課題として位置づけており、従来からの安定的な配当を行うことに加え、業績連動型の配当を行うことを方針としております。

具体的には、株主の皆様に対する利益還元をより一層充実させる観点から、文溪堂単体の当期純利益の40%相当額を目処に年間配当金総額を決定しております。

なお、利益水準にかかわらず最低年間配当金として、1株当たり7円50銭を目標といたしております。

修正の理由

上記の基本方針に基づき、本日公表の通期業績予想を踏まえて、期末配当金につきましては、当初予想に対して1株当たり6円55銭を増額し15円25銭とさせていただきます。

(注)上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上